

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

○豊かなかかわり合いを通して「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の3つの視点に立った授業改善の研究を実践し、生徒の学力向上を図る。

＜本年度の学力向上策＞

研究主題

「夢をはぐくみ、豊かな心と健やかな体に基づき、主体的に学ぶ生徒の育成」

◎生徒の実態把握を行い、生徒一人ひとりに目を配り、手をかけ、上記3つの視点に立った授業実践を行い、学力向上を図る。

主な研究教科等

- ・国語 ・社会 ・数学 ・理科 ・「グローバル・スタディ」
- ・音楽 ・美術 ・技術・家庭 ・保健体育 ・特別な教科 道徳
- ・総合的な学習の時間 ・特別活動

具体的な取り組み

- 1 昨年度のさいたま市学習状況調査の結果を分析して、あらためて本校生徒の課題を把握する。
- 2 生徒の状況や課題をアンケート調査等で把握する。
- 3 課題の改善を図るための指導計画を工夫し、各教科の指導を行う。
- 4 朝読書の継続により、国語力向上に取り組む。
- 5 家庭学習の定着～家庭学習への支援・指導を通して、学習習慣の育成と基礎力アップを図る。
- 6 N I E の活用・推進
～新聞を教材として活用し、世の中の出来事に関心を持つ。スポーツ、芸能・音楽・美術、テクノロジー、食育、日本の歴史、世界の国々の様子など幅広い知識を身につけ、思考力・判断力・表現力等を育成する～
- 7 オリンピック・パラリンピック教育の取り組み ～アメリカ合衆国を中心に～

＜本年度の振り返り＞

学校評価アンケートでは、「授業に自ら積極的に取り組んでいる」生徒は84%だったので、9割を達成できるよう、継続的に生徒の学力向上を図っていく。

今年度の取り組みとしては、授業改善の為、相互授業参観を行いさいたま市「アクティブ・ラーニング」型授業の研修を実践した。アンケートの結果「授業は楽しくわかりやすい」という生徒は90%を達成した。国語力の向上を目指し、朝読書にも力を入れ、本の年間貸出冊数5000冊の目標を達成した。また、NIE教育を推進し、まとめ、発表の活動を積み重ねることにより、生徒の思考力・判断力・表現力の向上に寄与した。家庭学習の充実を図る為、生活記録ノートや学習の記録を活用し、家庭と連携を図りながら実施した。オリンピック・パラリンピック教育では、浦和レッズと連携を図り、サッカー観戦学習を実施したり、パラスポーツ選手の加藤健人選手にご講演いただいたりし、東京オリンピック・パラリンピックへの機運を高めることができた。